武高授業改善ＰＴ

BUKO　Active　News　vol. 6

2018.10 月発行

武生高校授業改善プロジェクトチーム

今月の公開授業

「正義を考える」

相道　孝志　教諭　１年　「現代社会」

10 月 17 日（水）１限目に１－８、18 日（木）４限目に１－８でそれぞれ「学校でのスマホの使用」、「学校での宿題禁止」をテーマに討論の授業を行った。

相道先生は、討論の肝は「テーマ設定である」と断言されていました。テーマが良ければ討論は盛り上がるらしいのですが、「学校でのスマホの使用」のテーマでは、一番最初に生徒に意見を聞き挙手させたときに、反対意見が約８割と、大きな偏りをみせ、「その時点でこのテーマは失敗だったと悟った（笑）」と相道先生は穏やかに笑っていらっしゃいました。しかし、そのような場合は、先生はあえて少数派にたち、メリットを滔々とお話になります。また、「学校での宿題の禁止」というテーマを発表したときは、生徒からはうなり声のようなどよめきが起きたそうです。

授業の流れとしては

１．このテーマのメリットをプリントに書かせる
２．このテーマのデメリットをプリントに書かせる
３．このテーマに賛成か反対かを書かせる
４．賛成か反対の理由を書かせる
（1~４は個人活動）
５．賛成の立場の意見を発表する
６．反対の立場の意見を発表する
（5・６は班別討論活動）
７．討論後、このテーマに賛成か反対かを書かせる。
８．賛成か反対の理由を書かせる
（7･8 は個人活動）

印象的だった生徒の意見　by 相道先生

テーマ「学校でのスマホの使用」

規制をしてもらわないと、スマホ依存から抜け出せない。学校にいてもスマホをさわっていると友人とコミュニケーションがとれない。

テーマ「学校での宿題の禁止」

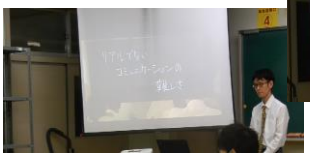
自分で自分のやりたいように、自分の勉強がしたい。

↑このような意見をもつ生徒は「宿題を禁止したほうが成績が上がる」とも言う。一方で、勉強方法がわからない生徒にとっては、宿題の禁止で成績が下がるという意見が多かった。

最後に、「討論をして自分の価値観が変わることはめったにないが、心が揺さぶられるということが大事」という相道先生のお言葉に考えさせられました。

第6回PT会議より

英語科がアツい!!



12 日の PT 会議では英語科・鈴木先生と石田先生からの授業実践報告が行われました。校長先生も参加してくださいました。

鈴木先生は、１年コミュ英の授業で「うまみ成分」について。専門的な知識を、ということで家庭科の角正先生にビデオレターで登場していただきました。生徒たちは、それだけで興味深く授業にのめりこんでおり様子がよく伝わりしました。英語×家庭科という教科横断型授業ですが、メリット・デメリットも挙げつつ、非常に意義ある教材研究の発表となりました。石田先生は１年のコミュ英の授業で、パワーポイントを使いながら、「アフリカの貧困地帯の水問題」という内容について、ただ内容理解に終わるのではなく、生徒たちが水不足について実感できるような構成の授業に取り組まれていました。

実践報告を受けたあとの正直な感想として「英語科ってすごい！」でした。何がすごいかというと、生徒の知的好奇心を煽る教材研究の深さと、教材を学年で共有しなおかつ少しずつ改良している２点でした。思わず「生徒は、面白い授業を受けられて幸せだよね。」と先生方で話してしまうぐらい、お二人の先生方が報告してくださった教材はよく作られていて、生徒の意欲を引き出し、かつ思考を深められる秀逸な教材です。新しい教材をつくられたら、また実践報告をしていただきたいと期待しています!!

10/25（木）の臨時 PT で小原先生が授業実践報告をしてくださいました。小原先生が今取りくんでいらっしゃるのは、物理の問題を解く過程で、

①個人で問題を解く。

②グループをつくり、生徒に解説をさせ、教え合う。

その中で、解説者と解説者の補佐としてファシリテーター役の生徒をつけて、お互いの理解が深まるように試行錯誤しながら学びが深まる授業を展開しています！

【ふたりごと】じわじわと授業改善 PT に流れ込んでいる「ファシリテーション」の波・・・。一緒に感じたい人は、ぜひ PT 会議へ遊びにきてください。11 月はいよいよ公開授業です!!　（10 月担当。辻崎・五十嵐）